

広報委員会

委員長：新開 裕幸

1. 活動方針及び活動目標

会員向け機関誌「OSAKA看護だより」と府民向け「テアテ」の企画編集を審議し、看護協会の活動の内容や看護職の活動について幅広く会員・府民に情報発信する

2. 活動内容

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	参加者
定例委員会 【マルイトOBPビル】 Zoom開催	1) 「OSAKA看護だより」府民向け「テアテ」の企画編集の審議 2) 広報委員会の広報活動の重要性と実際についての意見交換 3) 今年度の振り返りと来年度の活動についての検討	全9回	委員13名

3. 活動実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	参加者
OSAKA看護だより Vol.152	1) リレートーク「入院患者に笑顔や安心感をもたらし、ADLやQOLの維持向上につなぐために」 2) レポート「「地域」で学び、「未来」を拓く。」	11月20日 発行	記事作成 協力委員 2名
OSAKA看護だより Vol.153	1) 表紙 2) リレートーク「新たな認定制度「赤ちゃんにやさしいNICU (BFNICU)」全国7施設の1つに選出」	1月20日 発行	記事作成 協力委員 1名
テアテ Vol.23	1) 看護補助者としてあなたも病院で働いてみませんか？	9月20日 発行	記事作成 協力委員 2名
テアテ Vol.24	1) 特集 看護専門外来で活躍するスペシャリストたち「糖尿病看護外来、ストーマ外来、緩和ケア外来、助産師外来」	3月20日 発行	記事作成 協力委員 4名
その他広報活動	1) 協会PR動画作成 2) 福利厚生 の提案 3) SNSの活用について 4) 支部及び各施設の協会イベント等の周知	—	—

【活動の概要】

今期から教育現場のニーズをより取り入れるために大阪府学校協議会推薦の委員も加わり、対象を幅広くとらえ、活発な意見交換を行った。「OSAKA看護だより」では他施設や他支部がどのようなことに取り組んでいるかを知るための企画として、広報委員が所属している施設での特徴的な取り組みをり

レー方式で紹介するリレートークをシリーズ化した。また、「テアテ」では“看護職者”の幅広い活動をより知ってもらうため、看護専門外来や看護補助者を特集した。各委員が積極的に自施設の職員から意見を聴取し、それらの情報を参考に多角的に意見交換を行えたことにより、充実した内容の広報誌を作成することができたと捉えている。

4. 課題・その他

職能集団としてのブランディング力の向上、ホームページの更新、福利厚生の更なる充実と会員周知